

# ユニオンファンド 月次レポート

第 211 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2026年6月4日作成

## MONTHLY TOPIC

### 「頭と尻尾はくれてやれ」の落とし穴

株式市場にはさまざまな格言があります。「相場は相場に聞け」「落ちてくるナイフはつかむな」は、市場の流れに逆らうなと教えます。一方で、「人の行く裏に道あり花の山」は、人と同じことをしては大きな成果は得られないと言います。いったいどっちなんだと思ったものです（この話は2022年11月号でも書きました）。

上昇相場が続いたこともあり、最近「頭と尻尾はくれてやれ」を時々耳にします。相場の天井を当てようとせず、利益が出たなら満足して売るべきだ、という意味です。確かに欲張り過ぎは禁物です。しかし、この格言にも難しいところがあります。「もう残りは尻尾だけだ」と思ったところから、本当の上昇が始まることがあるからです。

#### ここから先は本当に「尻尾」なのか

日米の株式市場は、リーマンショック後の2009～12年頃を起点とすれば（日米で底値の時期が若干異なります）、15年前後続く上昇局面の途上にあるとも考えられます。その過程で、2017～19年頃には「株価の上昇ペースが速すぎる、そろそろ反落するのではないか」と感じていましたが、売却はしませんでした。結果として売らなかったのは正しかったと思っています。それなりに大きな下落は数回ありましたが、株価はその後にも上昇を続けたからです。もし当時、「ここから先は尻尾だ」と決めつけていたら、大きな上昇を取り逃していたでしょう。

もちろん、株式投資には大きな下落がつきものです。ITバブル崩壊、リーマンショックなどでは株価が半値まで下落しました。「あそこで欲を張らずに売っておけばよかった」という後悔は、人間としてごく自然な感情です。利益が出ているうちに売却することは、多くの人にとって非常に合理的かつ冷静な判断に見えます。しかし、そこで見落としがちながちなことがあります。それは、どんな危機の後でも世界経済は成長を続けてきたという事実です。

#### 「上がっている時に売る」よりも難しいのが「下がった時の買戻し」

暴落の最中には、売った時よりもっと悲観的なニュースが次々と出てきます。だからこそ株価は下がり続けるわけで、そんな状況で買い直すことは口で言うほど簡単ではありません。結果として市場に戻れず、その後の回復と成長の恩恵を逃してしまうことも少なくないのです。

長期投資の本質は、相場の天井や底を当てることではなく、企業や経済の成長に参加し続けることにあります。「頭と尻尾はくれてやれ」という欲張らないことを説く教えは確かに貴重であり、耳を傾けるべきでしょう。しかし、一見すると謙虚で理性的、かつ賢明に思える利益確定という行為が、実は長期的な成長の果実を享受する機会を自ら手放すことにつながりかねない、ということも忘れないでおきたいと思っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2026年5月末現在)

## 基準価額

49,673 円

## 純資産総額

185 億 01 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	3.80%
1 年	28.68%
3 年	51.53%
5 年	61.64%
10 年	153.63%
設定来	396.73%

## 複利年率(%)

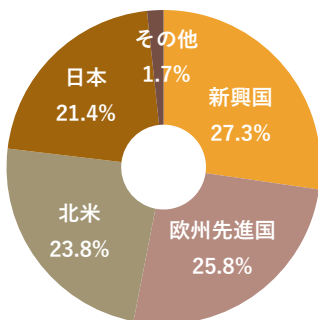
9.52%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

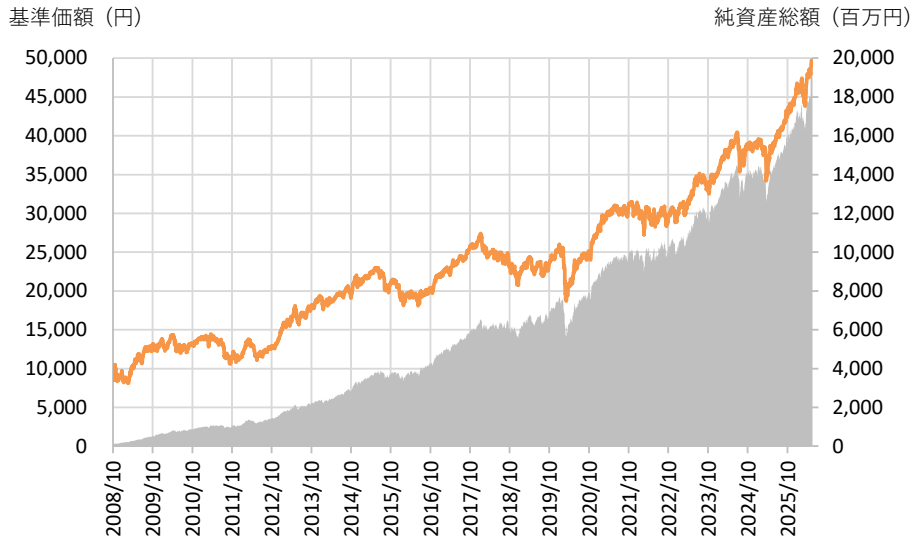
\* 設定来、分配の実績はありません。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2026年4月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移 (設定来、分配の実績はありません。)



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.5%	4.8%
スパークス F	日本	13.6%	0.8%
キャピタル F	欧米	20.8%	5.0%
ハリス F	欧米	17.8%	1.3%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	8.9%	-0.5%
コムジェスト・エマージング F	新興国	23.5%	10.5%
現金等	-	10.9%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2026年5月の市場動向と運用状況

## 投資環境

5月の世界の株式市場は4月の急反発を引き継ぎ、総じて上昇しました。ホルムズ海峡の船舶の航行は依然として低調でしたが、米国とイランとの和平協議が早晚合意に至るとの楽観的な見通しが優勢で、原油価格はトランプ大統領から協議に関する前向きな発言があるたびに下落を繰り返しました。石油製品の価格上昇などによるインフレはいずれ収まるとの期待から、金利の上昇も一服し、株価にとってプラスとなりました。

他方、米国を中心にAI・半導体業界の大幅な増収増益が続くと予想から、関連銘柄の株価は好調でした。米国や日本では主要な株価指数が最高値を上回りました。また、新興国市場は、韓国と台湾の半導体株が大幅に値上がりしたことから、上昇率は4月に引き続き地域別で最大となりました。欧州株は、景気悪化懸念もあって若干伸び悩み、戦争開始前の水準には届きませんでした。なお、おおむね堅調でした。

為替市場では、日本の政府・日銀による円買い介入で月初には円高に振れましたが、月末に向けて円は1ドル160円目まで反落しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドは値上がりしました。ただ、保有割合が小さい米国株の上昇率が高かったため、市場全体の上昇率を若干下回りました。コムジェストEMFの値上がり率が最大となり、新興国株の保有を多めにしていることがプラス寄与しました。売買は見送りました。月末の組入比率は89.1%と、前月から若干上昇しました。

## 今後の見通し

引き続き二つの不確定要素が市場を変動させる可能性があると考えています。第1は原油の供給と価格の不透明さです。和平合意のために米国とイランが提示する条件には依然大きな隔たりがあり、協議は紆余曲折しています。市場は「いずれは合意する」と総じて楽観視していますが、解決が遅れるとインフレ率を押し上げ続けるリスクが高まります。仮にホルムズ海峡の通航が可能になったとしても、すぐさま原油の価格と供給量が戦争以前の水準に回復することはないでしょう。破壊された湾岸諸国のエネルギー生産設備の全面復旧にはそれなりに時間がかかります。インフレがくすぶる中で、一服している長期金利が再び押し上げられる可能性もあります。ECB（欧州中央銀行）は利上げに傾きつつありますし、米国でもFOMC（連邦公開市場委員会）の利上げ予想が徐々に広がっています。その一方で、景気悪化のリスクも無視できず、金融政策のかじ取りは極めて難しくなっています。

第2は、市場をけん引しているAIの拡大に不透明な点がいくつかあることです。AIを動かすデータセンターには巨額の投資が今後も続く見通しで、半導体は量、価格ともに非常に強い追い風を受けており、電力設備、冷却装置など関連する業界にも恩恵が広がっています。しかし、市場は巨額な設備投資コストを懸念しています。必要な資金を調達するために社債を発行すれば、金利負担や将来の返済義務が重荷となりますし、株式発行（増資）によるなら1株当たり利益を低下させ、株価への直接的な下押し圧力になりかねません。こうしたマイナス面を差し引いてもなお期待通りの業績拡大を達成できるかは未知数です。また、株式市場では、新規上場予定の巨大企業の株式を購入するために、他の同種の企業の株式を売る、という動きも予想されます。株価の趨勢は上昇持続と思われるものの、期待と不安が交錯する状態が続く可能性があることには留意していきたいと考えています。

運用責任者 久保田徹郎

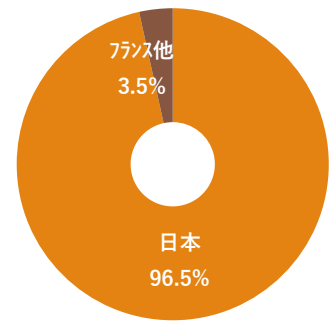
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



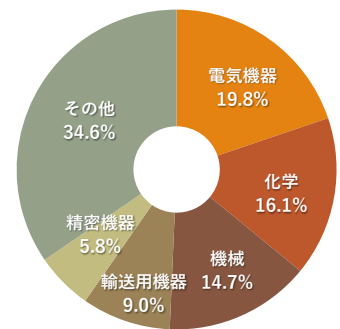
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	2.9%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
4 スズキ	2.4%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
5 浜松ホトニクス	2.3%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 ソニーグループ	2.3%	日本	電気機器	ゲーム・音楽・映画・電子機器等
7 ダイキン工業	2.2%	日本	機械	エアコン世界大手
8 TOTO	2.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 住友電気工業	2.0%	日本	非鉄金属	大手電線メーカー
10 日立製作所	1.9%	日本	電気機器	総合電機世界大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>25.1%</b>		<b>現金等</b>	<b>19.1%</b>

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2026年5月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



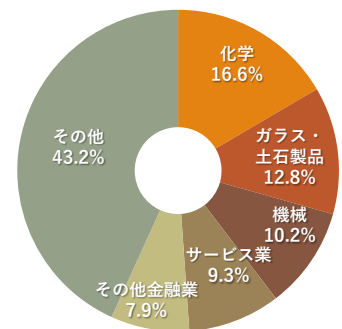
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライト工業		日本	建設業	法面保護・斜面安定工事等
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
横浜ゴム		日本	ゴム製品	大手タイヤメーカー
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
ダイフク		日本	機械	保管・搬送システム大手
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステアラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
<b>現金等</b>	<b>4.6%</b>			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2026年4月末現在 >

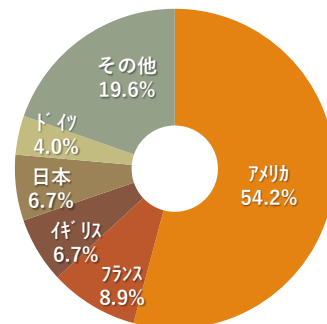
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



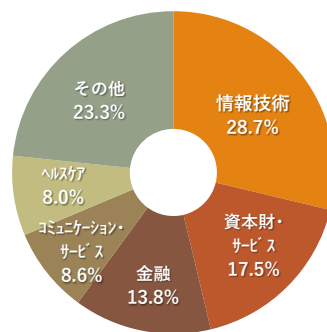
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Alphabet	5.4%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
2 Broadcom	5.0%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 TSMC	3.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 Microsoft	3.2%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 Apple	2.9%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 ASML	2.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 JPMorgan Chase	2.1%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
8 NVIDIA	2.1%	アメリカ	情報技術	AIコンピュータ最大手
9 Amazon	2.0%	アメリカ	一般消費財・サービス	ECサイト、ウェブサービス
10 SK hynix	1.8%	韓国	情報技術	半導体メーカー
上位10銘柄	30.7%	現金等	3.7%	

業種別構成比



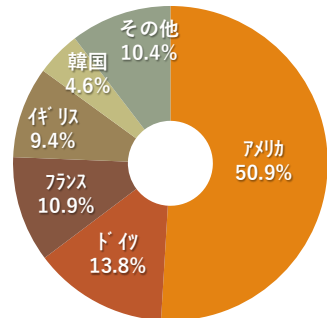
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年4月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



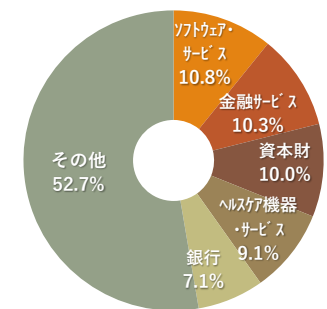
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNPパリバ	3.3%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 エアピーアンドビー	3.3%	アメリカ	消費者サービス	民泊仲介サイト
3 アディダス	3.0%	ドイツ	耐久消費財・アパレル	スポーツウェア世界大手
4 アイキューヴィア	2.9%	アメリカ	医薬品・バイ	薬品会社向け臨床研究・試験等
5 サンベルト・レンタルズ	2.9%	アメリカ	資本財	建設・工業・一般機器のレンタル
6 セールスフォース	2.6%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
7 ウィリス・タワーズ・ワトソン	2.6%	イギリス	保険	リスク助言、保険仲介、コンサル
8 シスコ	2.5%	アメリカ	生活必需品流通・小売り	大手食品流通会社
9 エレバンス・ヘルス	2.5%	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	医療保険会社
10 ジュリアス・ベア	2.5%	スイス	金融サービス	プライベートバンク
上位10銘柄	28.2%	現金等	5.7%	

業種別構成比(マザーファンド)

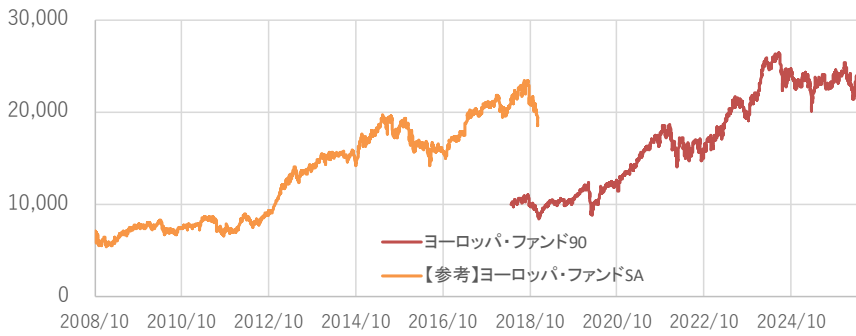


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年4月末現在>

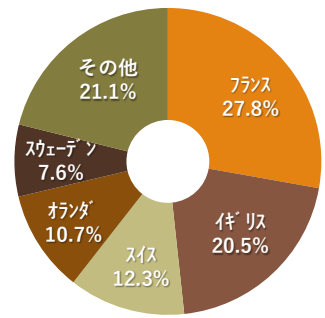
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



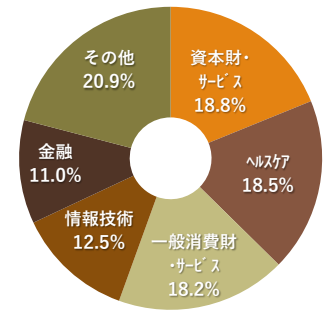
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	6.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 SCHNEIDER ELECTRIC	4.4%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
3 AIR LIQUIDE	4.3%	フランス	素材	産業ガス世界大手
4 NOVONESIS	4.1%	デンマーク	素材	食品用酵素・微生物等
5 INDITEX	3.9%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
6 LONDON STOCK EXCHANGE	3.9%	イギリス	金融	金融市場のデータ・インフラ
7 COMPASS GROUP	3.8%	イギリス	一般消費財・サービス	食品サービス
8 ADYEN	3.6%	オランダ	金融	国際決済システム
9 ESSILORLUXOTTICA	3.4%	フランス	ヘルスケア	光学製品
10 KINGSPAN	3.3%	アイルランド	資本財・サービス	高性能断熱材、建物外装
上位10銘柄	40.7%	現金等	1.4%	

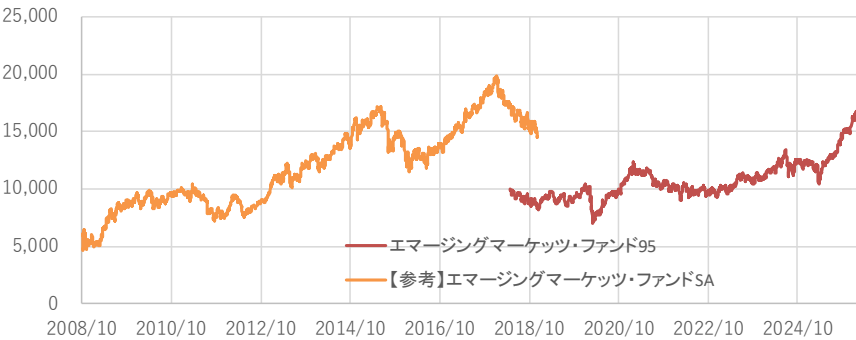
業種別構成比(マザーファンド)



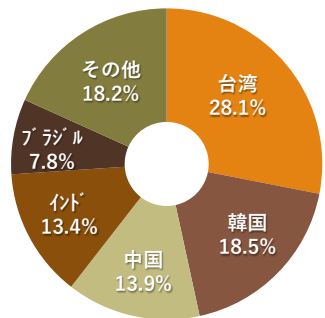
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年5月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



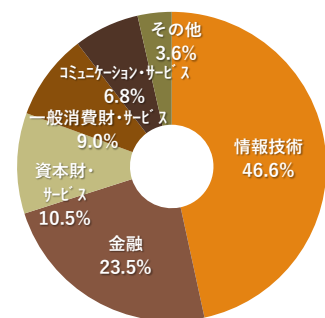
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SK HYNIX	9.7%	韓国	情報技術	半導体メーカー
2 TSMC ADR	9.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 DELTA ELECTRONICS	9.0%	台湾	情報技術	電源、変圧器
4 SAMSUNG ELECTRONICS	7.8%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 ASPEED	4.7%	台湾	情報技術	半導体の設計・開発
6 CONTEMPORARY AMPEREX TECH	4.2%	中国	資本財・サービス	EV用バッテリー
7 TENCENT	4.0%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
8 DISCOVERY	3.8%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
9 B3	3.4%	ブラジル	金融	大手証券取引所
10 CAPITEC BANK	3.2%	南アフリカ	金融	南アフリカの銀行
上位10銘柄	59.0%	現金等	2.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年5月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」** よりご請求ください。

#### ≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「お取引について」>「登録情報変更用紙請求」ページ  
[https://www.unionam.co.jp/account/regipii\\_input/](https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/)

- ① [入力フォーム]お客様の情報 をご入力
- ② [入力フォーム]必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力
- ③ 「入力内容の確認画面へ」> 内容ご確認の上「送信」ボタン

※「お客様コード（口座番号）」は、口座開設時にお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、NISA 口座、マイナンバー、お届け印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

### 目論見書の改訂について

2026年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

- ◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。
- ◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。
- ◎ 「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。

毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。